

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	JFE商事ブリクセンター大東新工場	階数	地上2F
建設地	大阪府大東市新田旭町	構造	S造
用途地域	工業地域,法第22区域	平均居住人員	31人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年4月 予定	評価の実施日	2018年7月3日
敷地面積	5,077 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社 一級
建築面積	2,910 m <sup>2</sup>	確認日	2018年7月5日
延床面積	3,166 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社 一級建築士事務所 中根 佐千



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (0 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>②建築物の取組み 78% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>③上記+②以外の 78% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>④上記+ 78% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.6</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>事務室は広い開口部によって、豊かな採光、通風を確保している。 主要内装仕上げ材については高い耐用年数を有しており、給排水配管についても長寿命な配管を採用している</p>	<p>その他</p> <p>特に無し</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>喫煙室において、非喫煙者が煙に曝されないような対策が取られている。 事務所について広い開口部より豊かな通風を確保</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>リフレッシュスペースが執務室に対して、広く確保されている。 主要内装仕上げ材については高い耐用年数を有している。 給排水配管について長寿命な配管を採用している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>特に無し</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明の採用</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体材料以外におけるリサイクル材の使用について資材を3品目用いている 自動水栓に加えて、省水型の大便器の採用など環境に配慮した器具を採用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率=78%</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	JFE商事ブリキセンター大東新工場 新築工事
	建設地	大阪府大東市新田旭町43番
	用途/区分	事務所 工場

【評価結果】	CASBEE 総合評価		<b>B+</b>
--------	----------------	--	-----------

①	CO2削減		<b>4</b>
---	-------	--	----------

②	みどり・ヒート アイランド対策		<b>2</b>
---	--------------------	--	----------

③	建物の断熱性		<b>5</b>
---	--------	--	----------

④	エネルギー削減		<b>4</b>
---	---------	--	----------

⑤	自然エネルギー直接利用		<b>—</b>
---	-------------	--	----------

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—	—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—	—

**エネルギー消費量の報告**

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	<b>3.8</b>	<b>4</b>
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	<b>2.0</b>	<b>2</b>
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	<b>2.0</b>	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	<b>3.0</b>	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	<b>5.0</b>	<b>5</b>
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	<b>4.0</b>	<b>4</b>
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	<b>3.0</b>	<b>—</b>
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

**その他**

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		